



# Web クリエイターボックス

もうユーザーを迷わせない! ナビゲーションメニュー設置のコツ

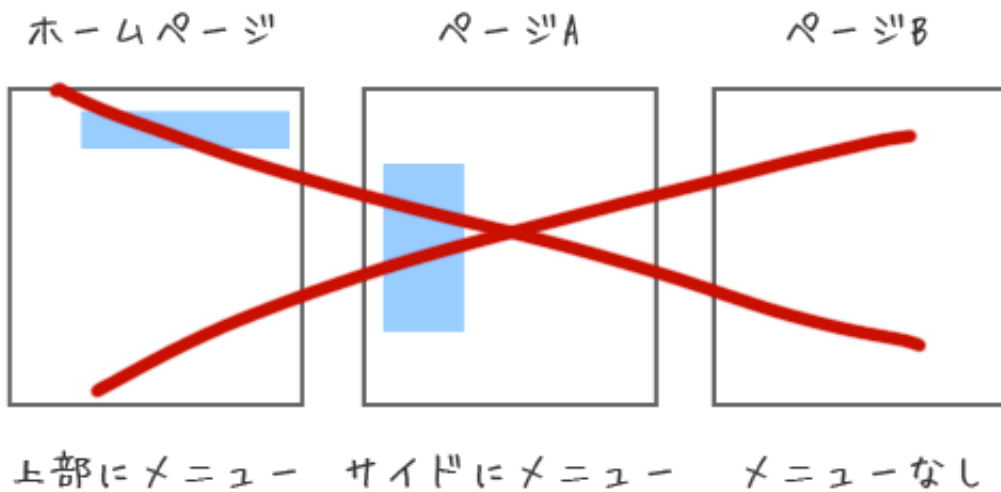
Mana - <http://webcreatorbox.com>

# もうユーザーを迷わせない！ナビゲーションメニュー設置のコツ

どのWebサイトにも必ずあるのがナビゲーションメニュー。各コンテンツページへリンクされている「Webサイトの目次」です。この目次をきちんと設置していないと、ユーザーは欲しい情報が見つからず、離脱率が高くなります。そのサイトでしか手に入らない、本当に必要な情報でない限り、こちらから案内しないとユーザーはコンテンツを探そうとしません。そんなナビゲーションメニューについて考えてみましょう。

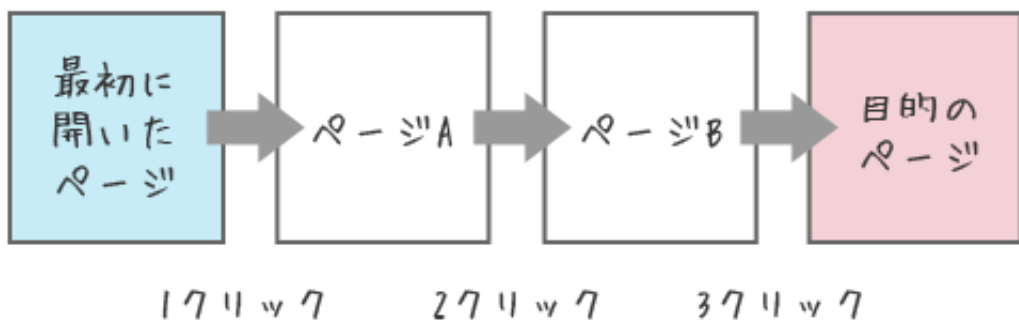
## ナビゲーションメニューの設置ポイント

すべてのページに



基本中の基本ですが、メインのナビゲーションメニューはどのページにも同じ場所に設置しましょう。ホームページでしか表示されない...なんてことがないように。というのも、ユーザーが最初にたどり着くのが必ずしもホームページとは限らないからです。検索で特定のコンテンツにひっかかった場合は、どのページがそのユーザーにとって最初に表示されるページかわかりません。

少ないクリックでたどり着ける



多くの場合、**全てのコンテンツへ3クリック以内でたどりつけるのが理想**とされています。3クリック以内に目的のページへいけなければ、ユーザーはサイト内で迷子になりやすく、他のサイトに移動してしまう可能性が高くなります。ページ数が多いサイトでもなるべく階層を少なくし、単純な構成になるよう工夫しましょう。1クリックですべてのページへいけるのが一番いいですね。

## カテゴリー分けする

[メンバー情報](#)  
[ギャラリー](#)  
[ライブ](#)  
[テレビ](#)  
[雑誌](#)  
[シングル](#)  
[アルバム](#)  
[DVD](#)



### バンドについて

[メンバー情報](#)  
[ギャラリー](#)

### スケジュール

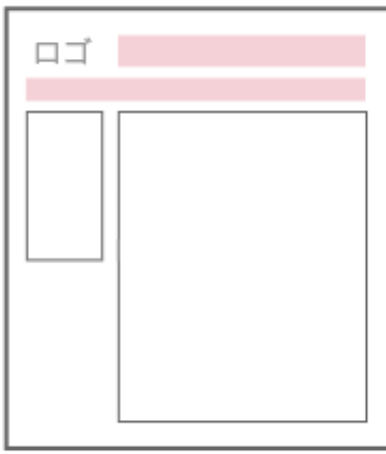
[ライブ](#)  
[テレビ](#)  
[雑誌](#)

### ディスコグラフィ

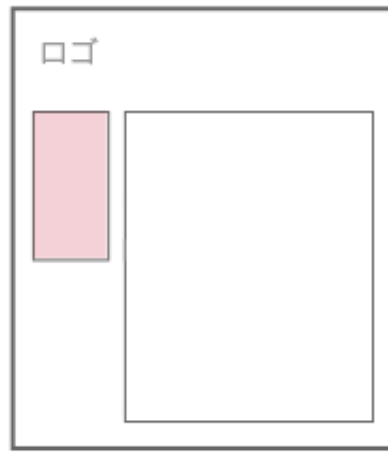
[シングル](#)  
[アルバム](#)  
[DVD](#)

ページをカテゴリー分けすることも大切です。ひと目でどんな内容のページなのかがわかりやすくなります。上の図でのカテゴリー分けする前のメニューは、ただリンクを羅列しただけで少し読みにくいですね。カテゴリー分けして見出しをつけると必要なページがすぐに見つかります。制作に入る前のサイトの構成を考える時点でこのようにページのカテゴリー分け・構成をしっかりと考えておきましょう。

## ナビゲーションメニューの位置



ページ上部や、



サイドバーなど。

Webサイトのデザインはどれも違うように見えますが、骨組みだけ見たらだいたい同じような場所にナビゲーションメニューが設置されています。たいていページ上部か、サイドバーにメインナビゲーションメニューがあると思います。これはユーザーがそのページを開いて、スクロールしなくても見える範囲（ファーストビュー）内にメニューを設置し、ユーザーにサイトの構成・目次を見てもらいやすくするためです。デザインやページ数によって設置場所は変わってくると思いますが、見えやすい位置にナビゲーションメニューだとわかるように設置することを忘れないでください。

## いろんな種類のメニュー

一口にナビゲーションメニューと言ってもいろんな種類・デザインがあります。どんなものがあるのか見てみましょう。

### ドロップダウンメニュー

ページ数が多い場合に使われるのがこのドロップダウンメニュー。通常時はメインメニュー名のみ表示され、マウスオーバーするとサブメニューが表示されます。サブメニューは普段隠れているので、スペースの節約にもなります。また、少ないクリックで目的のページへ案内することもできます。上記に書いたカテゴリー分けがうまくできたら、ドロップダウンメニューも作りやすくなりますね。ただし、そのまま設置したのではサブメニューがあると気づかれにくいので、矢印などをつけておくとわかりやすくなります。

### メガメニュー

メガメニューとはドロップダウンメニューのお友達で、メインメニューをマウスオーバーするとアイコンやグラフィックとともに複数のサブメニューが表示されます。**たくさんのサブページがある場合や視覚的にアプローチしたい場合に最適**です。何より「メニューをデザインする」というのがデザイナーのヤル気に火をつけそうです。だからといってあまり複雑なグラフィックを使ってしまったりして、ごちゃごちゃした印象になりやすいのがメガメニューの欠点。表示方法を考えながらユーザーにうまく伝わるよう、デザインを考えましょう。

## タブメニュー

メインメニューでデザイン的に使用しているWebサイトが多いですが、サイドバーなどでAjaxを使ってサブコンテンツを表示しているWebサイトもたくさんありますね。ポイントは**開いてるコンテンツの背景色と選択しているタブの色あわせる**こと。現在どのページを開いているのかがひと目でわかります。選択していないタブとの差別化をはかりましょう。またタブの数が多くなり、複数行にわたりそうな場合は、デザインが崩れてしまい見にくくなるので、タブメニューを使うのは避けたほうがよさそうです。タブ同士のスペースを適度に開けておくとより見やすくなります。

## ツールチップを使ったメニュー

ツールチップとはメニューにカーソルをあわせると、吹き出しなどのボックスでそれがなにかを簡単に説明するものです。ひと目でどんな内容のコンテンツかが想像つくようなメニューには設置不要かな、とも思います。

## アイコンを使ったメニュー

メニュー名の横などに関連するアイコンを使ったメニューを見かけることも多いと思います。ひとめでなんのページかわかるようになるので、より使いやすいメニューをデザインすることができます。ポイントは**全体のデザインとあったアイコンを選ぶ**こと。無機質でクールな雰囲気サイトに手描き風のアイコンはあいせんよね。また、アイコンのみではわかりにくいこともあるので、テキストと一緒に表示することも大切です。ページ数が多いサイトのメニューにアイコンを多用するとごちゃごちゃした雰囲気になってしまいがちなので、サイトのボリュームにあわせて調整してみてください。

## パンくずリスト

パンくずリストとは、Webサイトの中の今開いているページの位置を、階層順にテキストリンクで表示したものです。サイト内の同じ場所にパンくずリストを設置することにより、ユーザーが現在位置を簡単に知ることができます。特に大規模なサイトでは階層も深くなり、迷子になりやすいので、このパンくずリストを設置しているサイトが多いです。ちなみに「パンくずリスト」という名前は、童話『ヘンゼルとグレーテル』で、主人公が森で迷子にならないように通り道にパンくずを置いていった、というエピソードに由来します。

自分でWebサイト見ている時に、すんなり目的のページにたどり着いた場合と、サイト内で迷子になった時、何がどうわかりずらかったかを気にしてみると自分のサイトに活かせると思います。ただし、自分のサイトと他のサイトとでは必要なナビゲーションメニューは違ってくるでしょう。自分のサイトに必要なものを効果的に表示できる方法を考えて、ユーザーを迷子にさせない目次作りを心がけましょう！